

令和2年度みえ森と緑の県民税基金事業のうち、議論する事業

目次

(1) 議論する事業の抽出	1
(2) 議論する事業の概要	
① 里山再生・竹林整備推進事業（桑名市）	2
② 津市林地残材搬出促進事業（津市）	13
③ クラブ普及推進事業（尾鷲市）	20
④ 菰野富士ふるさとの山環境整備事業（菰野町）	26

## 1. 令和2年度みえ森と緑の県民税 事業別評価

### (1) 議論する事業の抽出

評価委員間で評価が分かれた事業

評価点「1」を付けた委員と、評価点「4」を付けた委員がいた事業

実施主体	対策区分	事業名	評価視点	評価点ごとの採点委員数				合計点数	平均点数	評価
				1	2	3	4			
○ 桑名市	2	里山再生・竹林整備推進事業	効率性	1	0	6	3	31	3.1	B
○ 津市	2	津市林地残材搬出促進事業	効率性	1	0	7	2	30	3.0	B
			公益性	1	0	7	2	30	3.0	B
名張市	2	危険木伐採事業	効率性	1	0	7	2	30	3.0	B
○ 尾鷲市	3	クッブ普及推進事業	有効性	1	0	6	2	27	3.0	B
			公益性	1	0	5	3	28	3.1	B
○ 菰野町	5	菰野富士ふるさとの山環境整備事業	効率性	1	0	7	2	30	3.0	B

※尾鷲市の「クッブ普及推進事業」は9人の評価委員で評価しています。

## 議論する事業①

## 1. 事業概要

実施主体	対策区分	事業名
桑名市	2. 暮らしに身近な森林づくり	里山再生・竹林整備推進事業

## 2. 事前評価結果

評価視点	評価点ごとの採点委員数				合計 点数	平均 点数	評価
	1	2	3	4			
有効性	0	0	6	4	34	3.4	B
<b>効率性</b>	1	0	6	3	31	3.1	B
公益性	0	1	7	2	31	3.1	B
情報公開度	0	1	9	0	29	2.9	B

## 3. 評価委員からの事前評価における特記事項

評価視点	特記事項
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>伐採した竹の活用も考えられている点は評価できる。</li> <li>民間の力を活用し、地域に根差した取り組みが展開されている。</li> <li>竹林整備への支援は評価できる。</li> </ul>
<b>効率性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選定理由の「法人（自治体などではなくNPO）自体の会員増強」が、事業の目的に合致するのか。さらに、その法人と「一者随意契約」を結んでいることに疑問を感じます。</li> <li>市内唯一の竹林整備NPO。</li> </ul>
公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>「幅広い県民が受益を受けることができた。」かどうかが示されていません。</li> <li>竹林の整備が進むことは地域の暮らしの安心につながる。</li> </ul>
情報発信度	<ul style="list-style-type: none"> <li>HP等インターネットを使った発信についてもご検討ください。</li> <li>複数の媒体で紹介している。</li> </ul>

## 【追加資料】

## 1) 随意契約の理由（桑名市作成「理由書」より引用）

本業務は竹資源循環創出推進事業の発展的委託業務であり、SDGsを推進するにあたり、重要な業務です。事業の趣旨に鑑みて、本市が締結した「桑名市竹資源の循環創出に関する包括連携協定」の相手方でもあり、竹林整備事業に精通した上記の者（特定非営利活動法人 桑竹会）に委託することが適当です。

よって、下記条項等に該当することと考一者随意契約を締結します。

地方自治法施行令第167条の2第1項第2号  
桑名市契約規則第27条第1項第1号  
桑名市随意契約ガイドライン第4条第1項第1号イ

## 2) 検討している竹材の有効活用

- ・竹プラスチックとしての利用
- ・集成材としての利用



第7号様式(その2) (評価委員会資料)

## 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり			市町名	桑名市
番号	事業名				
1	里山再生・竹林整備推進事業				
事業費	4,906,000円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,500,000		406,000

1. 事業の目的	<p>竹林整備を進めることで、里山の再生による自然環境及び生活環境の向上を目的とする。また、防災・減災、獣害対策につなげるとともに、住民参画を促し、安全安心な森づくりの理解と森林環境教育の浸透を図る。</p>
2. 事業実績概要	<p><b>【事業内容】</b>          枯竹・倒木等の除去、雑草等の除去、竹の間伐、チップ化した竹散布による現場の整備。          竹材活用のための伐採した竹の分割、搬出。</p> <p><b>【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b>          桑名市</p> <p><b>【補助率等】</b>          補助事業でなく、該当しない。</p> <p><b>【箇所数】</b>          6ヶ所(播磨、蛸塚新田、西方、下深谷部、志知、多度町力尾)</p> <p><b>【事業量】</b>          1.5ha</p> <p><b>【事業実施期間】</b>          令和2年4月から令和3年3月まで</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p><b>【実施箇所の選定理由】</b>          実施箇所の隣接地は住宅や生産基盤に関わる場所であり、整備する必要があるため。</p> <p><b>【事業実施により得られた効果】</b>          ・竹林整備により周辺住民の生活環境が改善された。          ・地域住民や生徒が竹林整備等を体験することで、森林環境意識の醸成につながった。</p> <p><b>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】</b>          整備した竹林は所有者や地域住民により管理をするとともに、伐採した竹材は協力企業等により活用される。</p> <p><b>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】</b>          周辺住民からは感謝の声が多く、所有者も今後の管理について前向きである。</p>

## 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	桑名市
番号	事業名				
1	里山再生・竹林整備推進事業				
事業費	4,906,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,500,000		406,000
4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】					
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】 市内NPO法人への業務委託を実施。					
【実施方法の選定理由】 地元で活動するNPO法人へ委託することで地域住民との連携を円滑にし、また、法人自体の会員増強にも繋がるため。					
【契約方法と落札率または補助率等】 一者随意契約 落札率99.98%					
【契約相手方の選定理由】 市と協定を締結しており、市内唯一の竹林整備専門のNPO法人であるため。					
【事業費の積算根拠】 竹林整備は本市の竹整備の単価契約をもとに算出（1本300円、10aあたり1,700本と見込み51万円/10a）、最終的には協議により30万円/10aとした。					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【事業参加や整備施設等の公益性】 NPO法人と連携し、目的に沿った整備箇所を選定した、広く一般の利益に寄与する事業である。					
【公的関与の必要性】 所有者の高齢化に伴う管理不全地について、公益関与の必要性は高いと考える。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】 業務委託先との連携により、所有者へは今後の管理を継続的に実施し、転用、目的外使用がないよう依頼している。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
チラシ等配布	実施前	地域住民に配布			
ポスター掲示	実施前・中・後	市役所内にポスター掲示			
施工看板に掲示	実施中	実施中整備箇所に掲示			
7. 写真					
別紙のとおり					
8. その他特記事項					

(評価委員会資料)

対策区分 2.暮らしに身近な森林づくり

市町名 桑名市

事業名 里山再生・竹林整備推進事業

7. 写真 桑名市大字播磨地内



写真1  
作業前

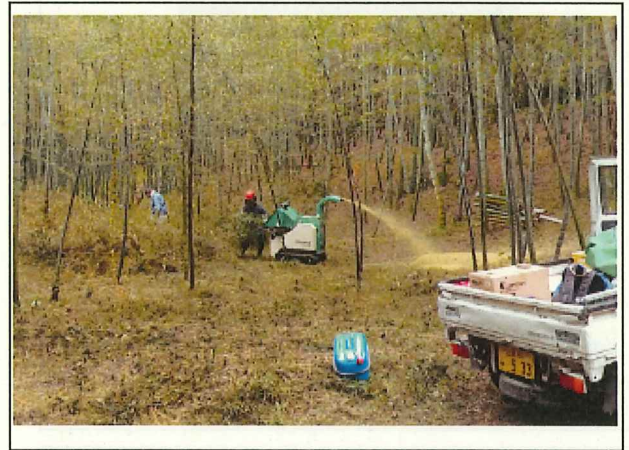


写真2  
作業中



写真3  
作業中



写真4  
作業後



(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	桑名市
-----	-----

事業名	里山再生・竹林整備推進事業
-----	---------------

7. 写真 桑名市大字蛸塚新田地内



写真5  
作業前



写真6  
作業前



写真7  
作業中



写真8  
作業中



写真9  
作業後



写真10  
作業後



(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり
------	-----------------

市町名	桑名市
-----	-----

事業名	里山再生・竹林整備推進事業
-----	---------------

7. 写真 桑名市大字西方地内

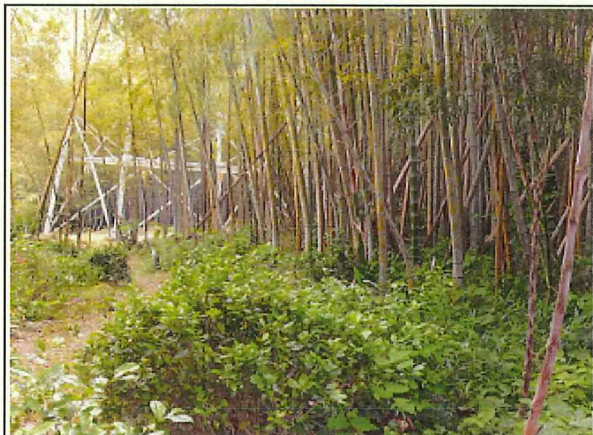


写真11  
作業前

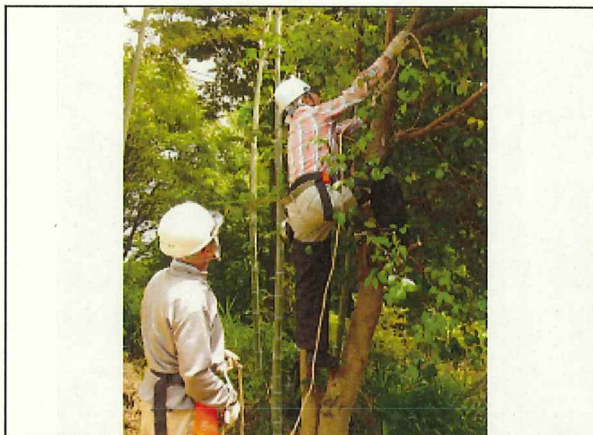


写真12  
作業中

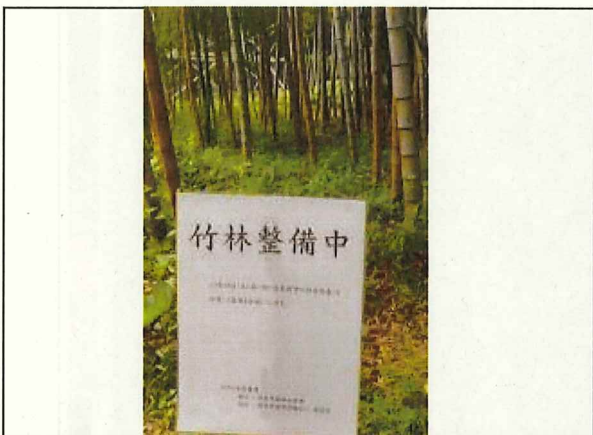


写真13  
作業中



写真14  
作業中

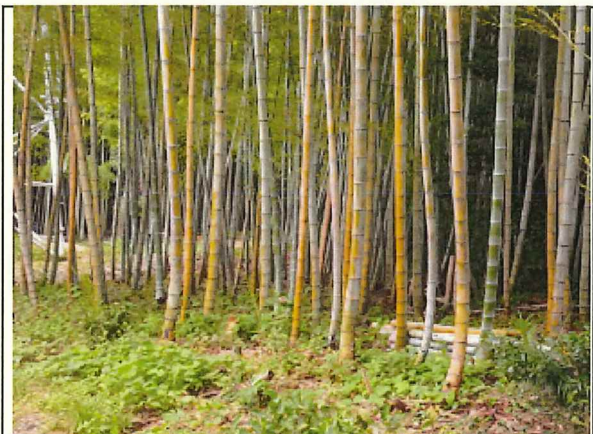
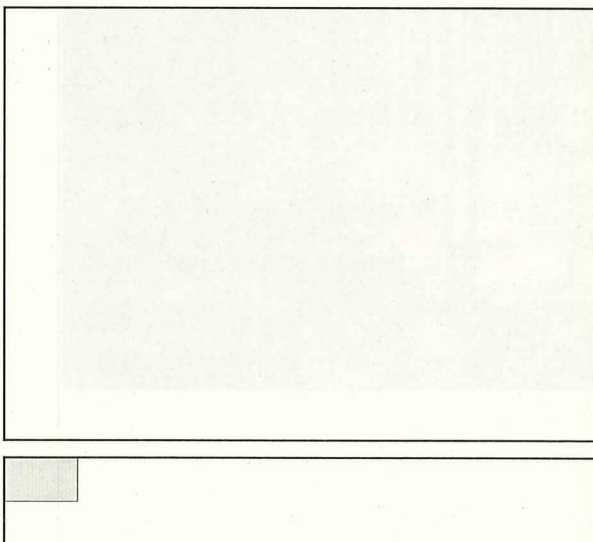


写真15  
作業後





(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり
------	----------------

市町名	桑名市
-----	-----

事業名	里山再生・竹林整備推進事業
-----	---------------

7. 写真 桑名市多度町力尾地内



写真16  
作業前

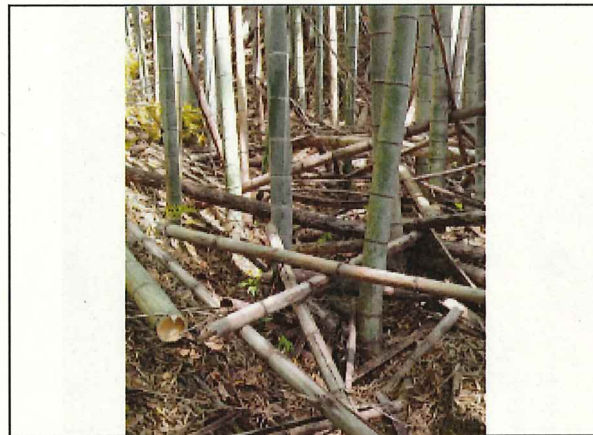


写真17  
作業前



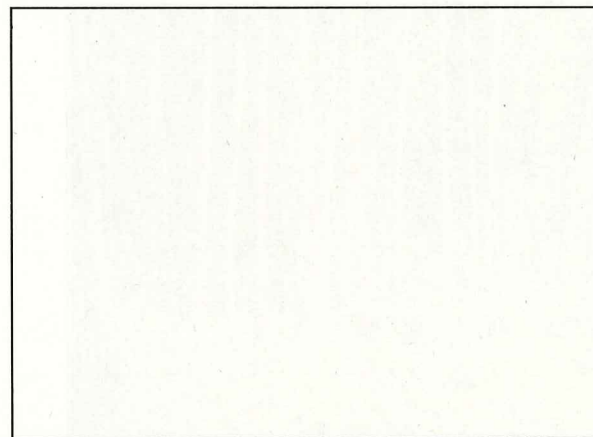
写真18  
作業中



写真19  
作業中



写真20  
作業後



A small empty rectangular box, likely a placeholder for a missing caption.



(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり
------	----------------

市町名	桑名市
-----	-----

事業名	里山再生・竹林整備推進事業
-----	---------------

7. 写真 桑名市大字下深谷部地内



写真21

作業前



写真22

作業中



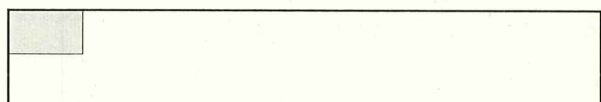
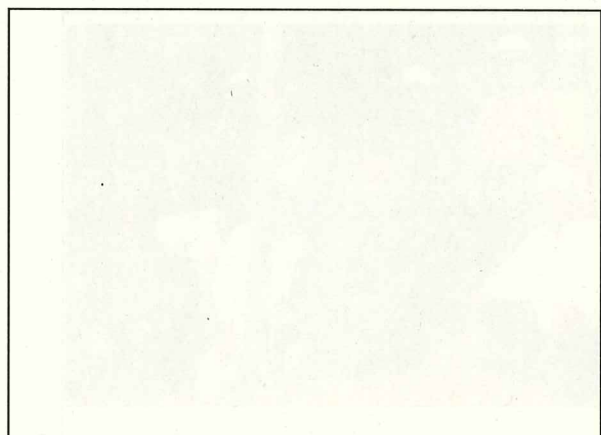
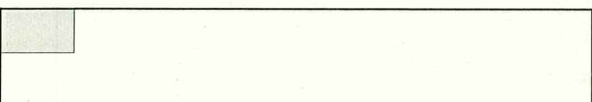
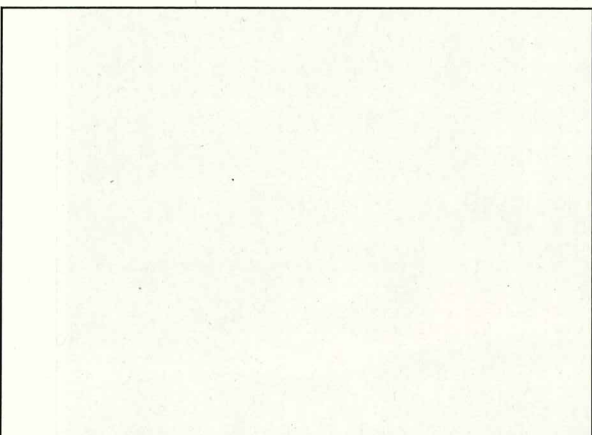
写真23

作業中



写真24

作業後





(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり
------	----------------

市町名	桑名市
-----	-----

事業名	里山再生・竹林整備推進事業
-----	---------------

7. 写真 桑名市大字志知地内



写真25  
作業前



写真26  
作業前



写真27  
作業中



写真28  
作業中



写真29  
作業中

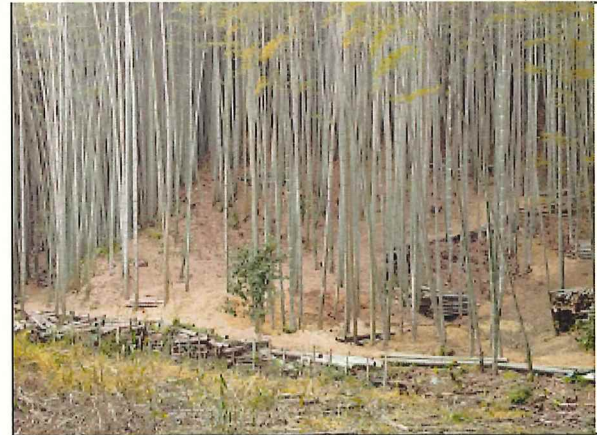


写真30  
作業後

(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	桑名市
------	-----------------	-----	-----

事業名	里山再生・竹林整備推進事業
-----	---------------

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
竹林整備業務委託	件	1.00	4,499,000	4,499,000	
竹材搬出業務委託	件	1.00	407,000	407,000	
事業費				4,906,000	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
竹林整備業務委託	竹林整備業務	件	1.00	4,499,000	4,499,000	
計						4,499,000

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
竹材搬出業務委託	竹材搬出業務	件	1.00	407,000	407,000	
計						407,000

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						



## 議論する事業②

## 1. 事業概要

実施主体	対策区分	事業名
津市	2. 暮らしに身近な森林づくり	津市林地残材搬出促進事業

## 2. 事前評価結果

評価視点	評価点ごとの採点委員数				合計 点数	平均 点数	評価
	1	2	3	4			
有効性	0	1	6	3	32	3.2	B
<b>効率性</b>	1	0	7	2	30	3.0	B
<b>公益性</b>	1	0	7	2	30	3.0	B
情報公開度	0	1	8	1	30	3.0	B

## 3. 評価委員からの事前評価における特記事項

評価視点	特記事項
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギーの普及にも貢献している。</li> <li>山が綺麗になり、再生可能エネルギーの普及にも貢献している。</li> </ul>
<b>効率性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常に大きな金額を本事業に割いている。木質チップを原料としたバイオマス発電所が乱立している状況であるが、林地開発の処理材などの供給が増大する中、発電所ではチップの買い取り単価を下げる動きにある。その中であまり過大な助成を行うと、さらなる買取価格の引き下げにつながることを懸念する。</li> </ul>
<b>公益性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他地域に比べ非常に高い搬出助成は不公平感を生む恐れがある。</li> </ul>
情報発信度	

【追加資料】

(津市提供資料)

## 林地残材搬出促進事業

### 1 目的

造林補助制度の改正に伴い、間伐事業における間伐材の搬出は、平成27年度まで山林1haあたり90m<sup>3</sup>が補助対象であったが、平成28年度からは60m<sup>3</sup>に縮小された。このため、1haあたり30m<sup>3</sup>が搬出されずに林地残材として山林に残される。

このことは、林内下層植生の生育を阻害して水源涵養機能を低下させるだけでなく、豪雨時に河川を閉塞させる流木の発生原因となる。さらには、土砂災害発生時に土砂とともに土石流となって流れ出し、下流域の住民生活に及ぼす被害を増大させるおそれがある。

このことから、みえ森と緑の県民税を活用し、間伐に伴う林地残材について搬出補助を行うことで、災害に強い森林をつくることを目的とする。

また、搬出された林地残材については、必要となる残材の処理において、副次的効果として津市バイオマス産業都市構想に位置付けられている木質バイオマス事業への有効利用を図ることとする。



### 2 内容

「山から山土場までの林地残材の搬出補助」

1 m<sup>3</sup>あたり7,600円（1 t 当たり6,080円）の搬出補助を行う。

※事業創設時（平成28年度）の造林事業の換算係数0.8を適用

### 3 効果

#### ○ 直接的効果

- (1) 水源涵養機能の向上
- (2) 流木発生原因の排除
- (3) 土石流発生時における下流域の被害軽減
- (4) 森林所有者の負担軽減（林地の不要木の整理）

#### ○ 副次的効果

- (1) 林地残材の木質バイオマスへの有効利用



#### 4 必要性

造林事業の搬出上限が60m<sup>3</sup>であることや、採算の取れない山は切り捨てられることから、今後、林地残材が自然と減ることは一切考えられず、災害時の下流域への被害を増大させる可能性は間伐をすればするほど高まっていく。一方、既存事業で、間伐により発生する林地残材を林内から運び出す仕組みは無い。



みえ森と緑の県民税の、土砂や流木の発生を抑制する「災害に強い森林づくり」を重点的にかつ緊急に実現する目的と合致することから、市町交付金を活用して、林地残材の搬出を促進する。

林地残材搬出促進事業を行った林業事業者も、森林がきれいになったと手ごたえを感じており、また、地域住民からも安心感が増したという声をいただいている。

また、津市森林整備協議会においても、山の中に材を残さないことは二次災害の原因を取り除くことに繋がるため有益であると意見をいただいている。

津市としても、間伐により林地残材が発生する状況が無くならない限り、災害に強い森林づくりを進めていくため、継続する必要がある。

#### 【令和2年度事業実施個所 施工前の状況】

過去の間伐木が不安定な状態で斜面に残っていたため、降雨等により流れ出し林道を塞いでいる状況。





第7号様式(その2) (評価委員会資料)

## 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	津市
番号	事業名				
1	津市林地残材搬出促進事業				
事業費	30,428,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			30,420,600	0	8,200

1. 事業の目的	<p>間伐等で発生する林地残材等について、再生可能エネルギーである木質バイオマスエネルギー利用を図るため、採算の合にくい林地からの搬出・運搬に関し、間伐施業地から山土場、山土場からチップ工場への搬出経費を支援することで、森林所有者・林業事業者への意識啓発、取組拡大、利用量の増加を図る。また、林地残材の減少を図り、河川等への流出を防ぐことで流木を出さない森林づくりを進める。</p>
2. 事業実績概要	<p><b>【事業内容】</b> 間伐施業地から山土場まで、及び、山土場からチップ工場までの搬出経費の一部を支援する。</p> <p><b>【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b> 認定事業者(津市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者14業者)</p> <p><b>【補助率等】</b> 定額(間伐施業地から山土場まで:上限6,400円/m<sup>3</sup>、山土場からチップ工場まで:上限1,200円/m<sup>3</sup>)</p> <p><b>【箇所数】</b> 事業体A(津市美杉町太郎生地内ほか)、事業体B(津市美杉町下之川地内)、事業体C(津市美杉町丹生俣地内)、事業体D(津市美杉町丹生俣地内ほか)</p> <p><b>【事業量】</b> 林地残材搬出材積 6,968m<sup>3</sup> 事業体A(4,968m<sup>3</sup>)、事業体B(1,360m<sup>3</sup>)、事業体C(480m<sup>3</sup>)、事業体D(160m<sup>3</sup>)</p> <p><b>【事業実施期間】</b> 令和2年4月1日から令和3年3月19日</p> <p><b>【受益者、参加者、利用者数等】</b> 流域居住者(不特定)、認定事業者4者、バイオマスエネルギー利用者(不特定)</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	<p><b>【実施箇所の選定理由】</b> 林地残材の流出が多く発生している間伐実施箇所を対象に搬出を支援することで、効率的に未利用材の利用が進むと考えられるため。</p> <p><b>【事業実施により得られた効果】</b> 林地残材の減少により河川への流出危険性が減少し、減災効果が得られた。 また、バイオマス発電燃料として未利用材の有効活用ができた。</p> <p><b>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】</b> 森林の持つ多面的機能が発揮されるよう、維持していく。 搬出した林地残材は、バイオマス発電用の燃料として活用している。</p> <p><b>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】</b> 流域住民からは、安心感が増したとの反応があった。 バイオマス発電利用者や林業事業者からは、当事業により木材資源の有効利用が進んだとの反応があった。</p>

## 令和2年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	津市
番号	事業名				
1	津市林地残材搬出促進事業				
事業費	30,428,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			30,420,600	0	8,200
4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】					
【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】					
搬出経費に対する補助					
【実施方法の選定理由】					
災害時の林地残材の流出に対する不安を軽減してほしいという地域住民の声と木質バイオマス発電燃料の供給促進が、林地残材の搬出という行為でマッチングしたため。					
【契約方法と落札率または補助率等】					
定額助成（間伐施業地→山土場6,400円/m <sup>2</sup> 、山土場→チップ工場1,200円/m <sup>2</sup> ）					
【契約相手方の選定理由】					
補助金交付申請方式であり、該当なし。					
【事業費の積算根拠】					
津市林地残材搬出促進事業補助金交付要綱に基づき積算。					
本事業では事業創設時（平成28年度）の造林事業の換算係数0.8を適用している。このことから、1 t当たりの単価は間伐施業地から山土場まで5,120円、山土場からチップ工場まで960円である。					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【事業参加や整備施設等の公益性】					
事業の参加資格については補助金交付申請書で確認している。					
【公的関与の必要性】					
林内に残される林地残材を放置することにより想定される林野災害を防止するためには、事業負担の軽減を図る必要があり、地域住民の不安解消という観点においても非常に重要な取り組みである。					
また、津市バイオマス都市構想におけるバイオマスエネルギー原料として有効活用している。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
規制は設けていないが、森林所有者が引き続き適切な管理を行う。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
HP掲載	実施前・中・後	本事業が県民税を活用して実施していることを周知した。			
のぼり設置	実施中	事業実施箇所において、税ののぼり旗により啓発を行った。			
パネル展示	実施後	市町交付金事業のパネルを庁舎（白山）に掲示し、PRを行っている。			
7. 写真					
別紙のとおり					
8. その他特記事項					



(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市
事業名	津市林地残材搬出促進事業		

## 7. 写真

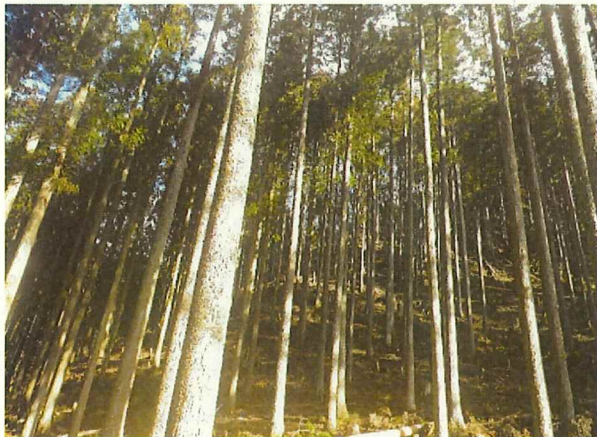


写真1

林地残材除去後の森林



写真2

林地残材の集積状況（山土場）



写真3

林地残材の積込状況（山土場）



写真4

林地残材の積込状況（山土場）



写真5

林地残材の搬入状況（山土場）



写真6

林地残材の搬入状況（チップ工場）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市
------	-----------------	-----	----

事業名	林地残材搬出促進事業
-----	------------

## 積算資料（実績報告参考資料）

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m <sup>3</sup>	1360.00	7,600	10,336,000	事業体A
林地残材搬出材積(山土場から工場)	m <sup>3</sup>	800.00	1,200	960,000	事業体A
林地残材搬出材積(山土場から工場)	m <sup>3</sup>	560.00	1,200	672,000	事業体A
林地残材搬出材積(山土場から工場)	m <sup>3</sup>	1200.00	1,200	1,440,000	事業体A
林地残材搬出材積(山土場から工場)	m <sup>3</sup>	960.00	1,200	1,152,000	事業体A
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m <sup>3</sup>	88.00	7,600	668,800	事業体A
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m <sup>3</sup>	1360.00	7,600	10,336,000	事業体B
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m <sup>3</sup>	240.00	7,600	1,824,000	事業体C
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m <sup>3</sup>	240.00	7,600	1,824,000	事業体C
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m <sup>3</sup>	48.00	7,600	364,800	事業体D
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m <sup>3</sup>	56.00	7,600	425,600	事業体D
林地残材搬出材積(施業地から工場)	m <sup>3</sup>	40.00	7,600	304,000	事業体D
林地残材搬出材積(施業場から工場)	m <sup>3</sup>	16.00	7,600	121,600	事業体D
事業費		6968.00		30,428,800	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
					0	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
					0	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
					0	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
					0	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
					0	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
					0	



## 議論する事業③

## 1. 事業概要

実施主体	対策区分	事業名
尾鷲市	3. 森を育む人づくり	クップ普及推進事業

## 2. 事前評価結果

評価視点	評価点ごとの採点委員数				合計 点数	平均 点数	評価
	1	2	3	4			
<b>有効性</b>	1	0	6	2	27	3.0	B
効率性	0	2	6	1	26	2.9	B
<b>公益性</b>	1	0	5	3	28	3.1	B
情報公開度	0	1	5	3	29	3.2	B

※当事業は9人の評価委員で評価しています。

## 3. 評価委員からの事前評価における特記事項

評価視点	特記事項
<b>有効性</b>	・クップの普及が、事業内容に有効な取り組みとは思えません。根拠が不明確です。
効率性	・とこわか国体用のコースターの活用目的が不明
<b>公益性</b>	・クップの普及による受益が、本事業の受益ではありません。
情報発信度	

## 【追加資料】

### 1. クップを普及することで期待される効果

クップ (kubb) は、スウェーデン語で「薪」を意味する言葉でもあり、角材や丸棒などの木片を使うスポーツで、令和3年5月に本市で国体デモンストレーション競技として開催が予定されていました。

このため、木を使うクップ競技をきっかけに、より多くの方々に地元尾鷲ヒノキや森づくりの大切さへの理解を深めていただくことを目的に、平成30年度にみえ森と緑の県民税を活用して尾鷲ヒノキ製のクップを製作し、市内の小中学校等に配布するとともに、森林教育を実施してきました。

また、令和2年度には国体参加者等へも尾鷲林業の普及を目的とした啓発物品として、同じく尾鷲ヒノキを使用したコースターとピンバッチを製作しました。

### 2. 作成した啓発物品の活用状況

令和2年度は、国体への参加申し込みのあった団体や、クップ審判講習会の受講者、尾鷲市の小学生を対象にした放課後こども教室「いきいき尾鷲っ子」で開催したクップ体験イベント参加児童に対して、森づくりの大切さや木材利用の意義について説明する際に、地元尾鷲ヒノキで制作したコースターやピンバッチを配布しました。

また、令和3年5月に予定されていた国体デモンストレーション大会において、本県民税事業の趣旨について説明する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、大会が中止になりました。

このため、7月下旬に行われる「オープンウォータースイミング三重オープン2021尾鷲兼三重とこわか国体リハーサル大会」の参加者を対象に、森づくりの大切さや本県民税事業の趣旨を説明する際に、これら啓発物品を活用する予定です。



## 第7号様式(その2) (評価委員会資料)

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠) 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	尾鷲市
------	-------------	-----	-----

番号	事業名				
3	クップ普及推進事業				
事業費	1,265,590 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,265,590		

<b>1. 事業の目的</b>	
クップ普及の推進は、地元産の木材を利用した木育事業と併せ、生涯スポーツの振興につなげるべく行っているところであり、より競技の普及を図るため、全国規模の大会を行う東京都立川市を視察し、ジャパンオープン大会の開催をしていく。	
<b>2. 事業実績概要</b>	
<b>【事業内容】</b>	
スポーツ振興と木育活動の一環として「クップ」を普及するため、全国規模の大会を行う東京都立川市を視察し、市民等に向けた講習会の実施や、ジャパンオープン大会を実施していく。また、令和3年度に行われる国体では、多くの方に尾鷲ヒノキ林業を知っていただく絶好の機会として、地元の尾鷲ヒノキを利用した国体で行われる競技の参加賞及び盾を作成してこの地域森林や林業のPRを行なっていく。	
<b>【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】</b>	
尾鷲市教育委員会	
<b>【補助率等】</b>	
該当しない	
<b>【箇所数】</b>	
該当しない	
<b>【事業量】</b>	
・東京都立川市への旅費(2名分) ・講習会(20回) ・国体用盾(大2基、小4基)	
・クップ普及用品(とこまるくんオリジナルピンバッチ1000個、内クップ600個)	
・国体用参加賞(とこまるくんオリジナルコースター1300枚、内クップ600枚)	
<b>【事業実施期間】</b>	
令和2年5月～令和3年3月	
<b>【受益者、参加者、利用者数等】</b>	
普及員によるクップ指導：今年度イベント、講習会参加者約1,000人(目視による数の確認。)	
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>	
<b>【実施箇所の選定理由】</b>	
スポーツ振興と木育活動の一環として「クップ」を市内外に対して広く普及を行うため。	
<b>【事業実施により得られた効果】</b>	
「クップ」という木材を利用した競技を普及させ、地元の尾鷲ヒノキを身近に感じ、触れることで、学校児童生徒や、大人等の利用者に対し、森林の重要性や必要性の認識を深め、県民税に対する理解を得ることが出来た。今回の視察を行ったことにより、県外の方に対して広く普及することが出来た。今後、ジャパンオープン大会等を開催する時に活かしていきたい。	
<b>【整備した場所・施設・備品の今後の活用】</b>	
参加者に木育についても併せて行っていく。	
<b>【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】</b>	
参加者は、とても興味を持っていただき、市内の小学生やその父兄などにはかなり浸透してきた。放課後などにクップをする学校もある。使っているクップを県民税を活用して作ったこと、普及啓発用品を配り県民税の周知も行った。	

## 令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	尾鷲市
番号	事業名				
3	クップ普及推進事業				
事業費	1,265,590 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,265,590		

## 4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

請負契約、その他

## 【実施方法の選定理由】

市の関係規定による

## 【契約方法と落札率または補助率等】

一般競争入札、旅費規程

## 【契約相手方の選定理由】

市の関係規定による

## 【事業費の積算根拠】

業者からの見積もりによる積算

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【事業参加や整備施設等の公益性】

参加者名簿等の作成、目視による数の確認。今年度イベント、講習会参加者約1,000人

## 【公的関与の必要性】

小中学校や市民全般にクップの普及を図るため。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

該当しない

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
その他	実施前・中・後	イベント開催時に県民税も併せて周知している。
HP掲載	実施前・後	市のホームページにおいて活動内容の紹介
広報誌掲載	実施前・後	市の広報誌において活動内容の紹介
パネル展示	実施後	県尾鷲庁舎県民ホールにて展示
ロゴマーク掲示(シル・プレート等)	実施中・後	イベント用の盾に県民税のロゴをプリント
啓発物品配布	実施中・後	県民税のロゴが入った啓発物品を配布

## 7. 写真

別紙のとおり

## 8. その他特記事項

(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	尾鷲市
事業名	クップ普及推進事業		

7. 写真



写真1

先進地視察①



写真2

先進地視察②



写真3

先進地視察③

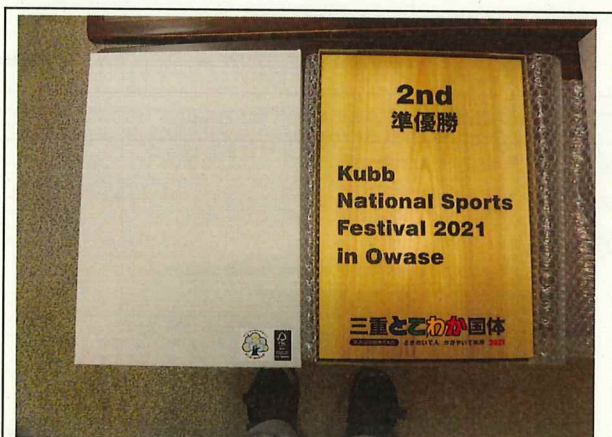


写真4

大会用盾



写真5

啓発物品①



写真6

啓発物品②



(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	尾鷲市
------	-------------	-----	-----

事業名	クップ普及推進事業
-----	-----------

## 積算資料 (実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
国体用盾				90,900	
尾鷲ヒノキのコースター (とこわか国体仕様)				792,000	
国体啓発用ブローチピンバッチ				181,455	
消費税	%	10.00	1,064,355	106,435	
視察旅費	人	2.00	47,400	94,800	
事業費				1,265,590	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
国体用盾	トロフィー (大)	基	2.00	17,150	34,300	無地桧材 40×300×450
	トロフィー (小)	基	4.00	14,150	56,600	無地桧材 40×270×400
	計				90,900	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
尾鷲ヒノキのコースター (とこわか国体仕様)	とこまるくんオリジナルコースター	枚	100.00	600	60,000	ユニカール
	とこまるくんオリジナルコースター	枚	500.00	600	300,000	ウォーキング
	とこまるくんオリジナルコースター	枚	600.00	600	360,000	クップ
	とこまるくんオリジナルコースター	枚	100.00	600	60,000	OWS
	データ製作費	式	1.00	12,000	12,000	
計				792,000		

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
国体啓発用ブローチピンバッチ	とこまるくんオリジナルピンバッチ	個	1000.00		181,455	クップ・ウォーキング・ユニカール
計					181,455	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
計						

## 議論する事業④

## 1. 事業概要

実施主体	対策区分	事業名
菰野町	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	菰野富士ふるさとの山環境整備事業

## 2. 事前評価結果

評価視点	評価点ごとの採点委員数				合計 点数	平均 点数	評価
	1	2	3	4			
有効性	0	1	6	3	32	3.2	B
<b>効率性</b>	1	0	7	2	30	3.0	B
公益性	0	2	6	2	30	3.0	B
情報公開度	0	3	6	1	28	2.8	C

※当事業は9人の評価委員で評価しています。

## 3. 評価委員からの事前評価における特記事項

評価視点	特記事項
有効性	・毎年大きな金額が使われており全体としての計画がよくわからない。
<b>効率性</b>	・毎年指摘しているがバリアフリー遊歩道6mに500万弱円（令和元年度実績）が妥当なのか。
公益性	・受益者見込み大きすぎないか？ ・受益者255万人とは過大と考える。
情報発信度	・完了後の情報発信は？看板設置など ・PR不足と思う。 ・菰野富士がどのような山でこれまでどのように地域と関わり今後どうするのかもう少し具体的に記述が無いと評価し難い。



## 【追加資料】

### 1. ユニバーサルデザインの木道整備の意義

菰野町では、総合計画において高齢者や障がい者をはじめ、誰でも安全で快適に生活できるよう「ユニバーサルデザインのまりづくり」を標榜しており、公共施設の新設や改築などの際には、ユニバーサルデザインを配慮することとしています。

また、観光振興プランにおいても「多様な観光ニーズへの対応」を掲げていることから、ユニバーサルデザインの木道整備をすすめてきました。

### 2. これまでのみえ森と緑の県民税市町交付金の活用状況

事業年度	延長(m)	事業費 (円)	内交付金額 (円)	内基金活用額 (円)
平成29年度	33.7	29,582,280	13,889,478	12,407,249
平成30年度	43.0	28,825,200	22,780,280	
令和元年度	6.4	4,910,400	4,774,000	
令和2年度	89.6	30,107,000	7,733,355	4,447,268
計	172.7	93,424,880	49,177,113	16,854,517

### 3. 周辺森林の活用状況



【企業の森活動】 左：ホンダロジスティクスによる森林整備活動  
右：JAバンクによる植樹活動

### 木道終点付近から望む景色



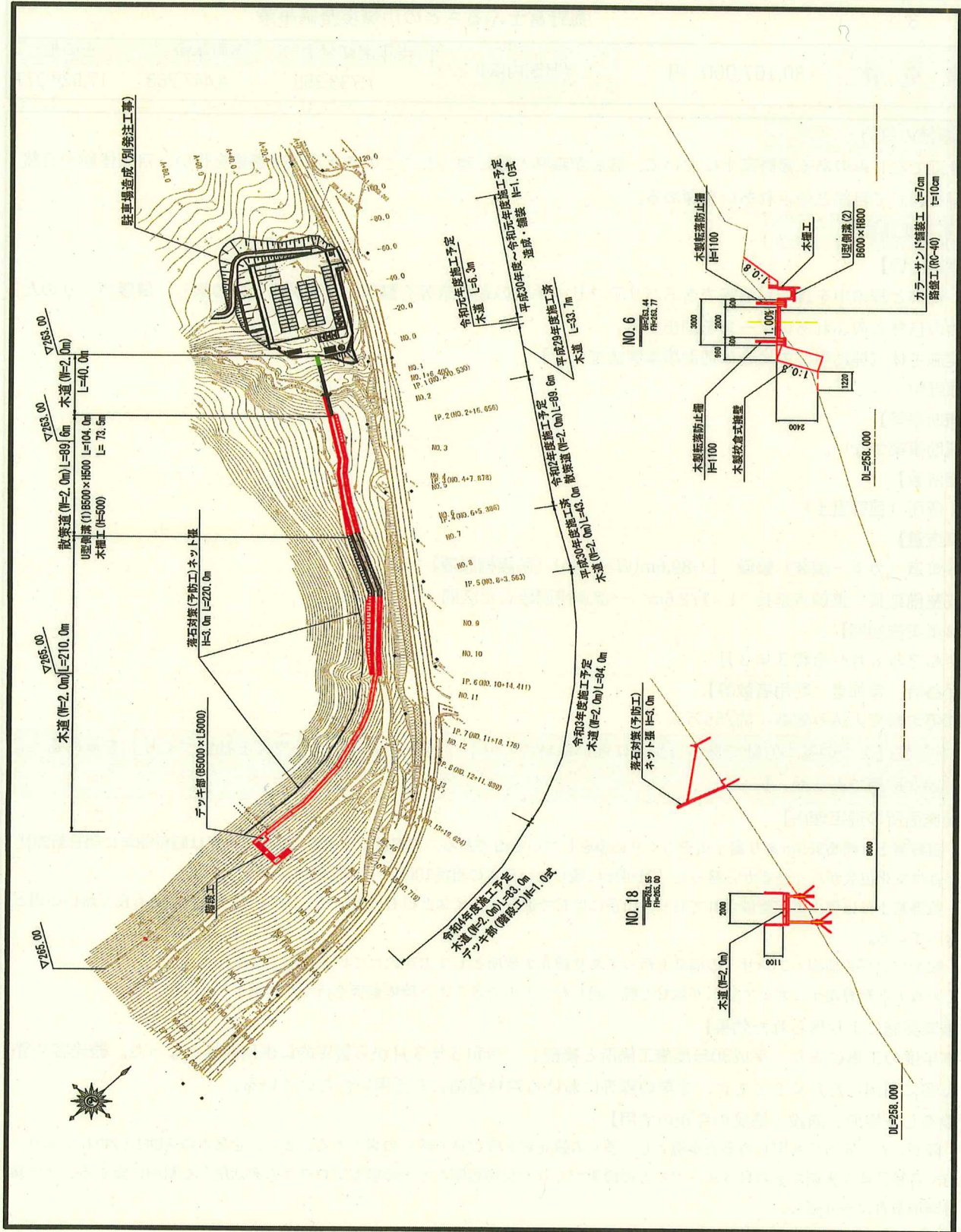


対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり
------	--------------------

市町名	菟野町
-----	-----

事業名	菟野富士ふるさとの山環境整備事業
-----	------------------

全体計画図



## 第7号様式(その2) (評価委員会資料)

令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり			市町名	菰野町
番号	事業名				
3	菰野富士ふるさとの山環境整備事業				
事・業 費	30,107,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			7,733,355	4,447,268	17,926,377
1. 事業の目的					
身近でなじみのある菰野富士において、誰もが森林と緑に親しむことのできる環境整備を行い、自然体験や自然学習を通じて自然とのふれあいを深める。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
森林と緑の中を誰もが散策できるバリアフリー木道の遊歩道等を整備し、森林の中での癒し、健康づくりのための自然とのふれあいゾーンを創出する。					
【実施主体(補助事業の場合は補助事業実施主体)】					
菰野町					
【補助率等】					
補助事業でない。					
【箇所数】					
1箇所(菰野富士)					
【事業量】					
散策道(カラー舗装)整備 L=89.6m(W=2.0m)(防護柵設置)H=1.2m					
既整備延長:整備済延長 L=172.6m 一部運用開始した区間 L=129.6m					
【事業実施期間】					
令和2年6月~令和3年3月					
【受益者、参加者、利用者数等】					
菰野町観光入込み客数:約255万人					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【実施箇所の選定理由】					
菰野富士は標高369mあり富士山そっくりの姿をしている山であり、菰野富士の裾野に広がる高原は昭和58年に朝日新聞社と森林文化協会が広く読者から募った「21世紀に残したい日本の自然100選」に選ばれている。					
菰野富士には登山道が整備されており、山頂には石で造られたイスと机も設置されていて山頂からの眺めも良く憩いの場となっている。					
桜やツツジの植樹、アジサイの植栽も行っており観光の要所として力を入れている場所である。					
その身近な菰野富士において誰もが森林と緑に親しむことのできるよう環境整備を行うため選定した。					
【事業実施により得られた効果】					
本年度の工事により、平成30年度施工箇所と接続し、令和3年3月から暫定的に供用開始となった。観光客や登山客に利用いただくとともに、企業の森等における森林整備にも活用いただいている。					
【整備した場所・施設・備品の今後の活用】					
障がいがある方にも楽しめる遊歩道とし、多くの観光客を呼び込む憩いの場とする。また、企業の森活動も行われており、町や各種団体が実施する森林ウォークなどの健康づくりや自然観察などの体験型プログラムを活用した利用に資することで森林環境教育に取り組む。					
【事業に対する住民や受益者、参加者、利用者等の反応と対応】					
土地所有者である財産区からは遊歩道の早期開通を求められており期待されている。					



## 令和 2 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり		市町名	菟野町	
番号	事業名				
3	菟野富士ふるさとの山環境整備事業				
事業費	30,107,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			7,733,355	4,447,268	17,926,377

## 4. 効率性【事業実施に要した経費は、コストをかけ過ぎることなく、効率的に執行されたか。】

## 【実施方法（委託（請負）、補助、その他）】

請負工事

## 【実施方法の選定理由】

直営の施設であるため。

## 【契約方法と落札率または補助率等】

一般競争入札により行った。落札率は87.09%である。

## 【契約相手方の選定理由】

一般競争入札により、落札額が最低価格の業者であり、くじ引きにより確定。

## 【事業費の積算根拠】

別紙設計積算の通り。

## 5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

## 【事業参加や整備施設等の公益性】

施行中であり共用を開始していないが、開始すれば新たな観光場となり、また地元住民も気軽に散策できる場となる。また、バリアフリー遊歩道であるため、障がいがある方にも楽しむことができる。

## 【公的関与の必要性】

新たな憩いの場を整備する事業であり、公的機関が関与して整備していく必要がある。

## 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

町が管理を行うため、転用のおそれはない。

## 6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果についての周知活動を通じて、みえ森と緑の県民税を活用した「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」について県民の理解が深められたか。】

## 【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施前・中・後	事業実施箇所においてのぼりを設置しPRを実施。
HP掲載	実施後	当該年度の活動について、HPにて広報を行った。
啓発物品配布	実施前・中・後	窓口及び森林活動団体（緑の少年隊等）の活動時において啓発物品を配布。

## 7. 写真

別紙のとおり

## 8. その他特記事項

(評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	菰野町
------	--------------------	-----	-----

事業名	菰野富士ふるさとの山環境整備事業
-----	------------------

## 7. 写真



写真1  
施工前①



写真2  
施工前②

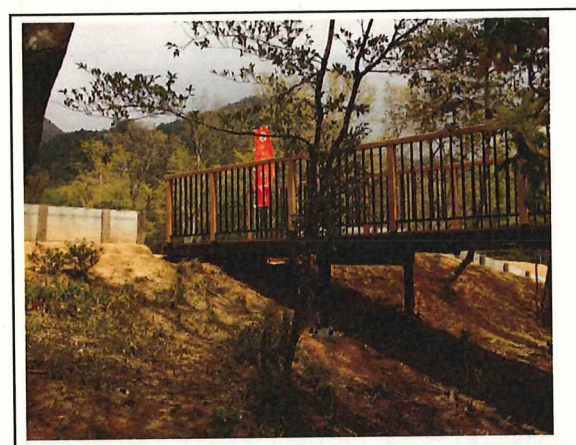


写真3  
施工前③



写真4  
施工後① 一部運用開始



写真5  
施工後② 一部運用開始



写真6  
施工後③ 一部運用開始



(評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	菰野町
------	--------------------	-----	-----

事業名	菰野富士ふるさとの山環境整備事業
-----	------------------

積算資料(実績報告参考資料)

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
純工事費	式	1.00	15,961,878	15,961,878	
現場管理費	式	1.00	6,063,000	6,063,000	
一般管理費等	式	1.00	4,235,122	4,235,122	
小計(千円止め)				26,260,000	
落札率	%	87.09	-	22,870,000	千円止め
消費税				2,287,000	
事業費計				25,157,000	
変更契約①				2,823,700	契約変更による追加
変更契約②				2,126,300	契約変更による追加
事業費	式	1.00	-	30,107,000	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計				0	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計				0	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計				0	

作業内容	名 称	単位	数量	単価	金額	備考
	計				0	

